

## 財政収支(2018年1-5月)

(1) 2018年1-5月における歳入は前年同期比18.3%増。所得税及び法人税が大きく伸び、税収は同20.2%増。

(2) 歳出面では、人件費や資本的支出が前年同期比増となり、歳出全体では同20.9%増。

(3) 財政収支は205億リラの赤字(前年同期比78.1%増)。プライマリーバランスは110億リラの黒字(前年同期比同23.0%減)。

データ:財務省 単位:百万リラ

歳入・歳出内訳	2017年(A)	2018年(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	255,263	302,063	18.3%
税収	209,648	252,071	20.2%
所得税	42,593	53,817	26.4%
法人税	26,668	34,336	28.8%
付加価値税(国内及び輸入)	58,873	69,405	17.9%
特別消費税	49,377	56,512	14.5%
その他税収	32,137	38,001	18.2%
税外収入等	45,615	49,992	9.6%
歳出(b)	266,757	322,529	20.9%
人件費	68,574	81,948	19.5%
物品及びサービスの購入	21,218	25,623	20.8%
経常移転	116,021	124,701	7.5%
資本支出	14,564	30,131	106.9%
支払利子(c)	25,710	31,417	22.2%
その他歳出	20,670	28,709	38.9%
財政収支(a-b)	▲ 11,494	▲ 20,467	▲ 78.1%
基礎的財政収支(a-(b-c))	14,216	10,951	▲ 23.0%

## 経常収支(2018年1-4月)

(1) 2018年1-4月の経常収支は、前年同期比80.1%減少し、218億ドルの赤字。

(2) 貿易収支は前年同期比86.4%減少、旅行収支は同36.3%の増加。

データ:中央銀行 単位:百万ドル

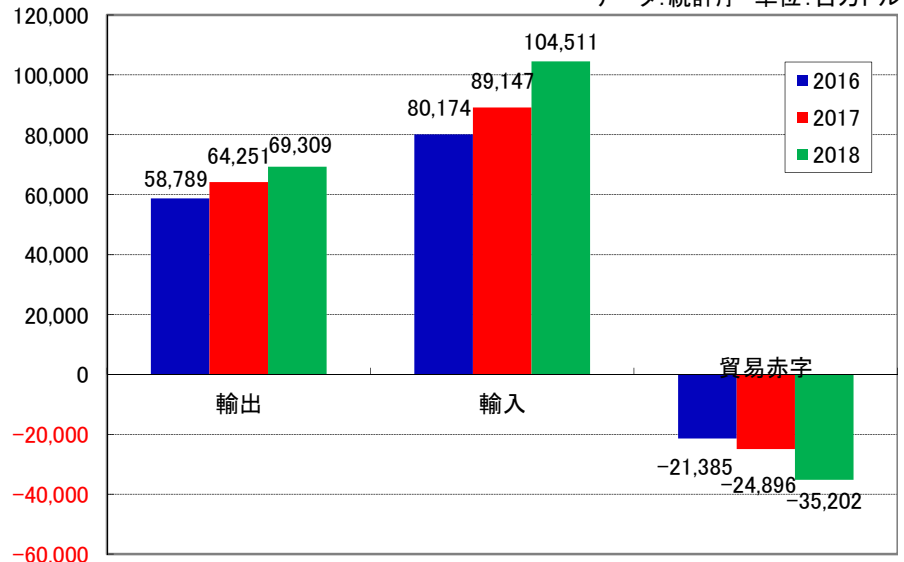
内訳	2017年(A)	2018年(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 12,104	▲ 21,799	▲ 80.1%
貿易収支(物品)	▲ 12,146	▲ 22,638	▲ 86.4%
サービス収支	2,840	4,443	56.4%
旅行収支	2,769	3,773	36.3%
その他サービス収支	71	670	843.7%
第1次所得収支	▲ 3,391	▲ 3,856	▲ 13.7%
第2次所得収支	593	252	▲ 57.5%
労働者送金	150	94	▲ 37.3%
その他第2次所得収支	443	158	▲ 64.3%
資本移転等収支	▲ 2	25	1350.0%
金融収支	▲ 20,367	▲ 17,994	11.7%
直接投資	▲ 2,725	▲ 1,778	34.8%
証券投資	▲ 7,684	▲ 1,842	76.0%
その他投資	▲ 2,143	▲ 16,426	▲ 666.5%
外貨準備	▲ 7,815	2,052	126.3%
誤差脱漏	▲ 8,261	3,780	145.8%

## 貿易収支(2018年1-5月)

(1) 2018年1-5月の輸出額は693億ドル(前年同期比7.9%増)、輸入額は1045億ドル(同17.2%増)となり、この結果、貿易収支は352億ドルの赤字(同41.4%赤字拡大)となった。

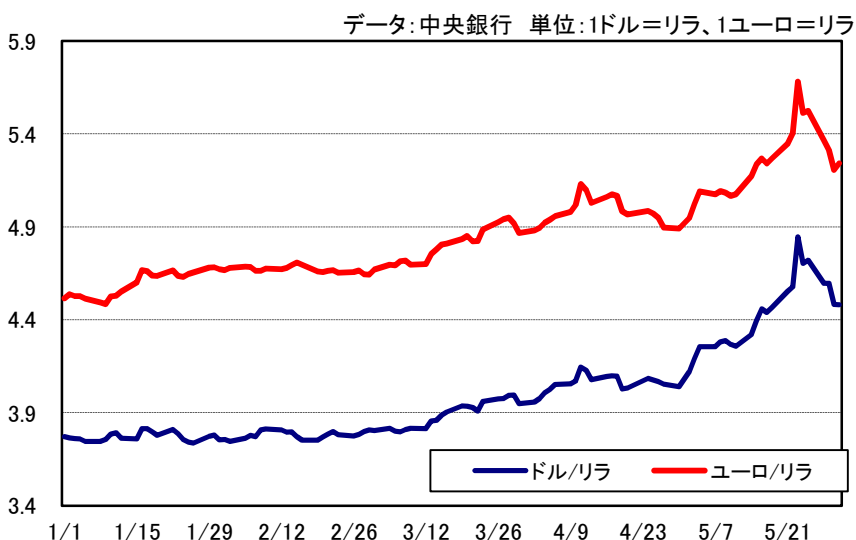
(2) 2018年1-5月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は51.4%(前年45.8%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は37.4%(同35.9%)となっている。

データ:統計庁 単位:百万ドル



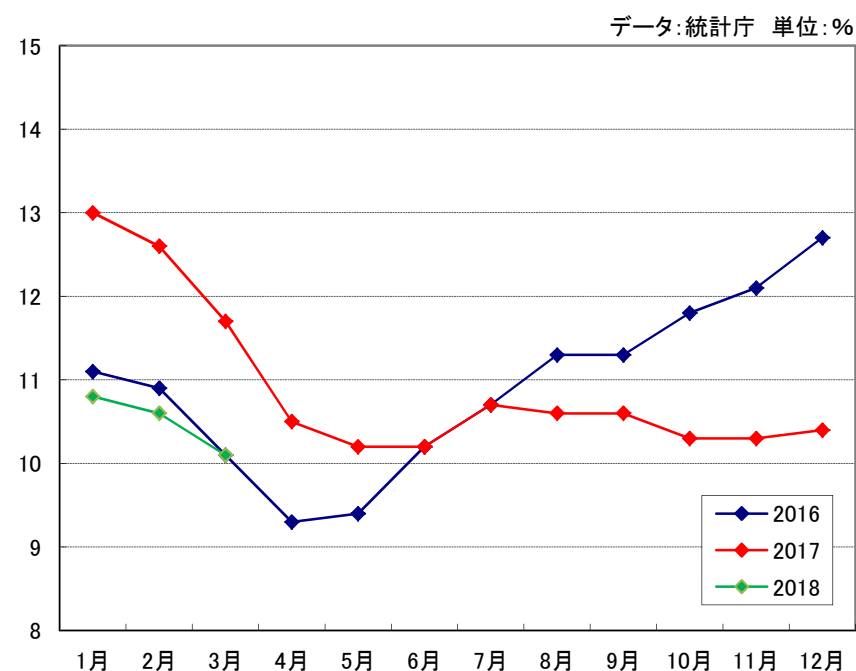
## 為替(6月)

6月のドル・リラ及びユーロ・リラ相場は、24日の大統領選挙・議会選挙前はリラ安傾向が続いていたが、選挙結果を受けて、一方的なリラ安局面は収束。最終的に1ドル=4.56リラ、1ユーロ=5.31リラで越月。



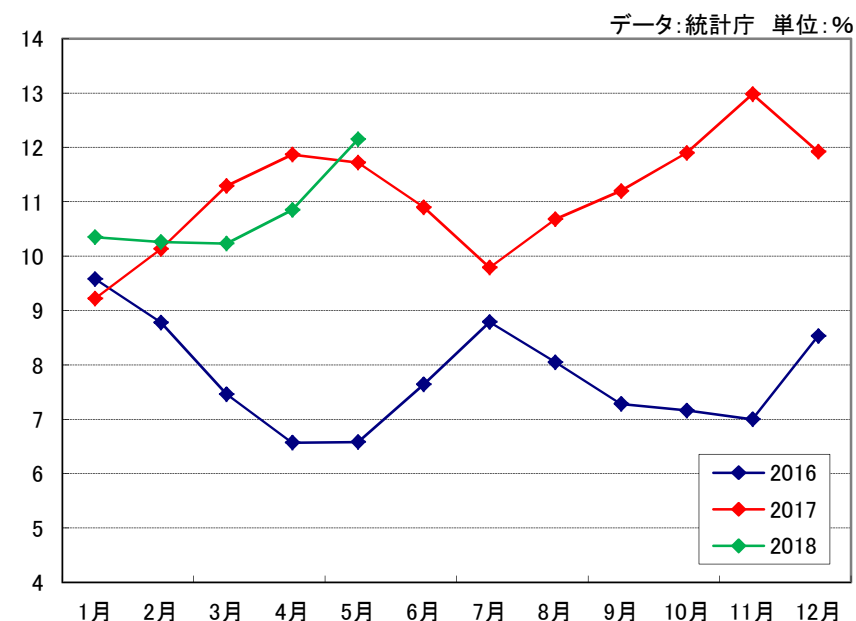
## 失業率(3月)

- (1) 2018年3月期の失業率は、10.1%。前年同期から1.6ポイントの下落、前月から0.5ポイントの下落。
- (2) 労働力人口は3,171万人、就労者数は2,850万人、失業者数は321万人。
- (3) 男性の失業率は8.8%、女性は12.9%。若年層(15-24歳)の失業率は17.7%となっている。



## 物価上昇率(5月)

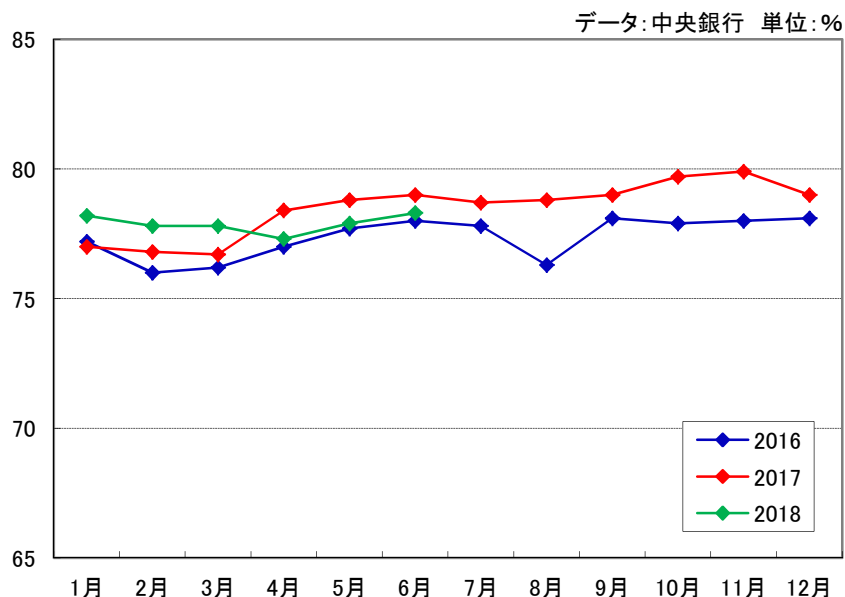
- (1) 2018年5月の消費者物価は前月比1.62%増、前年比12.15%の上昇。
- (2) 分野別に見ると、前月比で最も上昇したのは衣類・靴で5.21%。前年比で最も上昇したのは運輸で20.02%。
- (3) 本年末の中銀見通しは8.4%。
- (4) 国内生産者物価指数は前月から3.79%上昇し、年間で20.16%の上昇となった。



## 設備稼働率(6月)

(1)2018年6月の設備稼働率は78.3%となり、前月から0.4ポイントの上昇。前年同月からは0.7ポイントの下落となった。

(2)製造業の分野別では、紙及び紙製品(88.5%)が最も稼働率が高く、革及び革関連製品(60.0%)が最も低い稼働率であった。

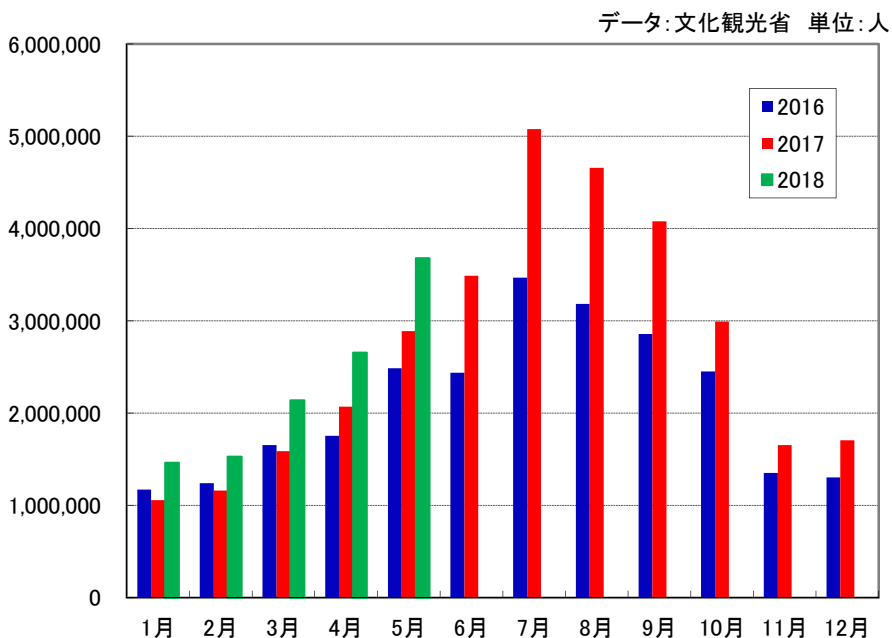


## 外国人訪問者数(5月)

(1)2018年5月にトルコを訪れた外国人訪問者は368万人であり、前年同月比27.3%増となった。

(2)訪問者数を国別に見るとロシアからが最も多く86.4万人で全体の23.5%を占める。以下、ドイツ(43.7万人)、英国(27.3万人)となっている。

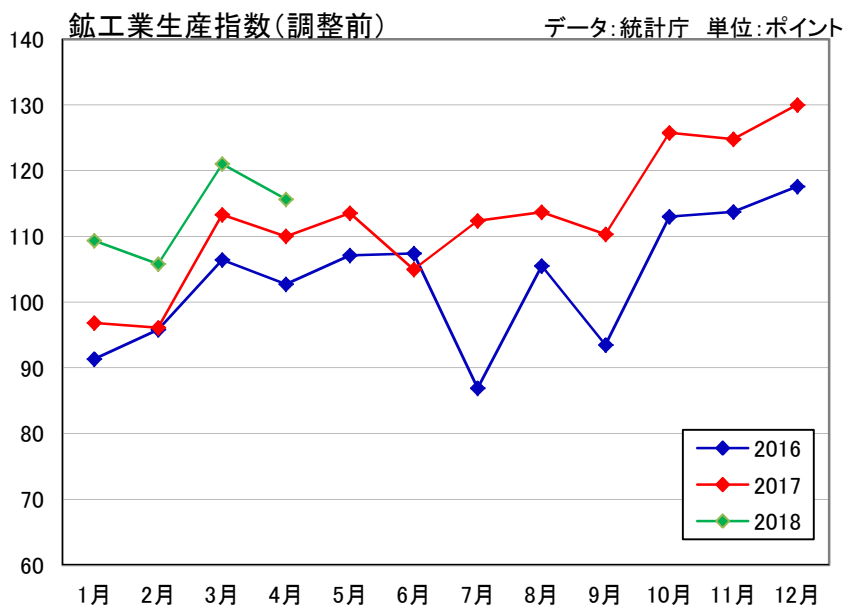
(3)なお、日本からの訪問者は6,611人(前年同月比64.5%増)となった。



## 鉱工業生産指数(4月)

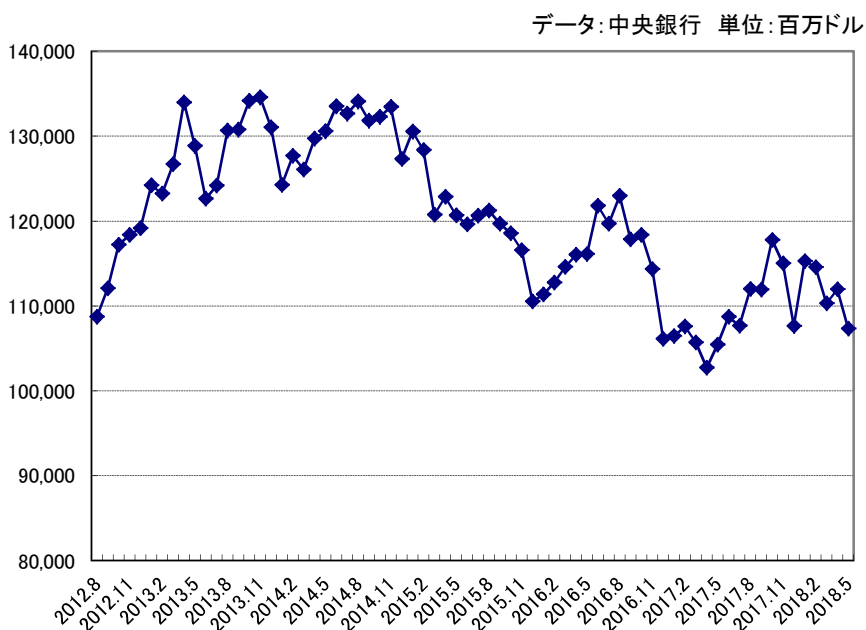
(1)2018年4月期の鉱工業生産指数(調整前)は115.6ポイント(2015年=100)となり、日数調整後の前年同月比は6.2%の上昇、季節及び日数調整後の前月比は0.9%の上昇。

(2)分野別では、エネルギー及び資本財が、いずれも前月比1.5%増となっている。



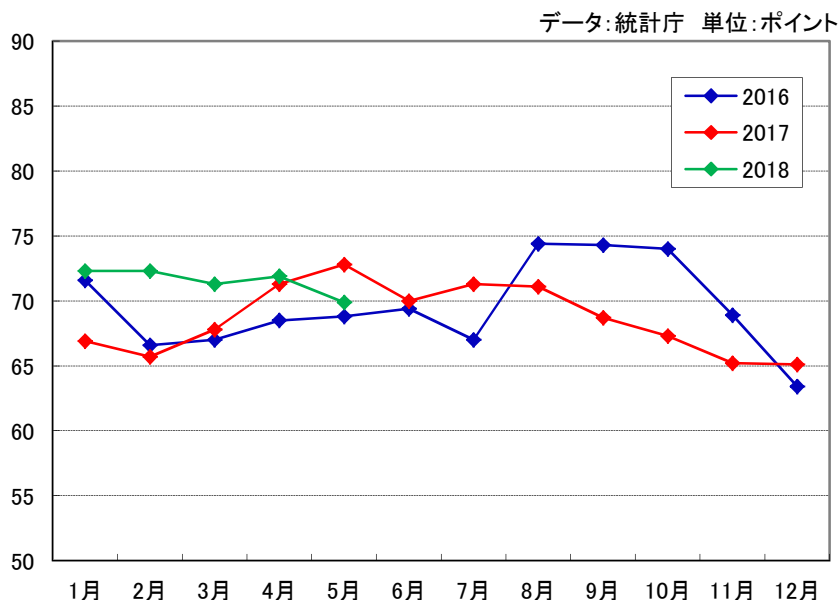
## 外貨準備高(5月)

(1)2018年5月時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,073億ドルとなった。  
 (2)外貨準備高は、一時1,300億ドルを超えていたが、現在は1,100億ドル付近で増減を繰り返している。



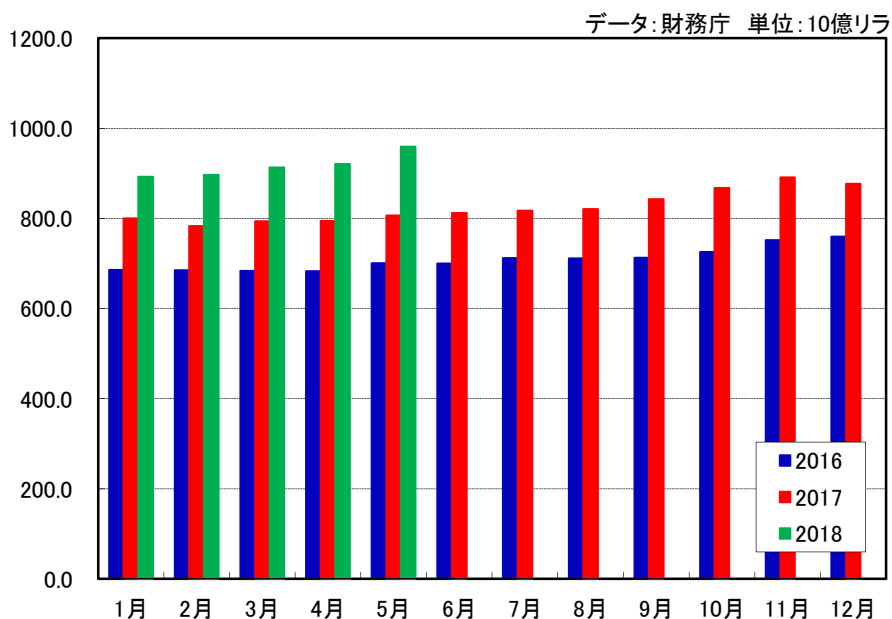
## 消費者信頼感指数(6月)

(1)2018年5月期の消費者信頼感指数は前月から0.4%増加し70.3ポイントとなった。  
 (2)内訳では、一般経済見通しが1.3%増加し92.1ポイント、失業者数見通しが2.5%改善し、75.4ポイントとなった。



## 中央政府債務残高(5月)

(1)2018年5月時点での中央政府債務残高は9,590億リラとなり、前年同期比18.9%増加した。なお、前月比では4.1%の増加となった。  
 (2)また、国内債務比率と自国通貨債務比率は共に58.0%となっている(2017年末61.1%)。  
 (3)なお、円建て外債(サムライ債)の発行により、債務残高のうち円は3.0%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。

